

第1回から第4回協議会での意見と回答

項目	番号	意見等の内容	第4回協議会での回答	現時点での対応方針等	第〇回意見
カレンダーイベント	①	公園HPIにイベントカレンダーを作っては、営業用に、イベントの出店リストを表示・管理事務所・海洋科学館・キャンプ場が自由に記入できるように	・トップページの新着情報から情報提供する ・カレンダーの理込等については、引き続き指定管理者で検討していく	・当ページの新着情報から情報提供 ・関連情報は新着情報のリンク先で提示 ・ホームページ中へのカレンダーの掲示については、引き続き指定管理者で検討していく	2
	①	どんな目的で来たのか、初めて来たのか、何回も来ているのかなどのアンケートをとるべき どんなものがあれば公園に来たい、こんなものを準備してほしいと思うかなど、来ない人にもアンケートを取るべき	・取っている ・改めて分析結果等を提示するので、意見をいただきたい	・指定管理者がアンケートを継続して実施 ・定期的に、協議会へ報告する	3
新たな公園の活性化	①	全体：広告にはお金をかけるべき。予算を取るようになければ	・予算措置について、引き続き要望中		3
	②	全ての広場と同じように管理するのではなく、部分的に草を長くして見るなど少し生態系の違いを出す	・植樹管理の過程で、予期せず実現していた ・実施可能な適地を検討していく	・指定管理者が行う植樹管理の中で、継続して適地を検討していく	3
	③	イベント時には、地元の飲食店に来ていただけたような仕組みを作って行くほうが良い	・試験的に専門業者を招き、移動販売等の需要を把握する		3
	④	実施イベントの実績をまとめ、こんなイベントでもできるというのをアピールするべき	・これまでのイベント実績を一覧にまとめ、年度毎に更新する	・イベントカレンダーと合わせて掲載を検討	3
	⑤	写真を載せ、プレスリリースをコピーしたら記事になるような書き方をすべき	・記者発表の記事等を工夫する		3
	⑥	塩田跡生態系干潟の再生とそれを子供達に提供	・今後、専門部会等の設置を調整		1
	⑦	人博の未就学児向けコンテンツの実施について	昆虫採集などいくつかのプログラムは実施済 今後、実施可能なプログラムは人博と協力して実施	・今後も継続して実施する	1
	⑧	駐車料金500円の無料化や有料施設とのセットで割引できないか	・R3.7.21～R4.3.31までの間、社会実験として平日の無料化を実施	・継続可能な公園の維持管理のため、無料化は難しい部分でもある ・今後、民間活力を活用する際に、あわせて検討	1

第1回から第4回協議会での意見と回答

項目	番号	意見等の内容	第4回協議会での回答	現時点での対応方針等	第〇回意見
計 の 統 合	①	公園の魅力アップについての意見・要望 ・電動キックボードの乗り入れ許可 ・科学館やキャンプ場を含めた一体管理の検討 ・海や干種川との関係を活かした整備	・条例等での規制があるものは、現時点での対応が難しい(キックボード等) ・一体管理や周辺地形を活かした整備は、今後継続して検討	・一体管理や周辺地形を活かした整備は、今後継続して検討	4
	②	民間活力活用に関する意見・要望 ・スケートボード、ポルダリング等の施設整備 ・塩を活用、飲食をセットにしたコンテンツの開発 ・水族館的な施設の整備 ・SUPやカヤック等の体験型コンテンツ整備	・今後、民間活力を活用する際に、あわせて検討(民間事業者から提案があった場合等)		4

第1回から第4回協議会での意見と回答（対応可能なものとして第4回協議会で説明し、現在実施中のもの）

項目	番号	意見等の内容	第3回協議会での回答	現時点での対応方針等	第〇回意見
1 イベント募集チラシ等について	①	チラシ：行政用語は硬いので、チラシの文言を工夫するべき	チラシの文言を修正（資料4-1-①、②、③）	同左、公園HPへ掲載	3
	②	位置図：文字と地図の色味を合わせるとわかりやすい	位置図を修正（資料4-1-④）	同左、公園HPへ掲載	3
	③	位置図：イベント利用不可の場所が目立ちすぎ。ケレーアウト等で十分	位置図を修正（資料4-1-④）	同左、公園HPへ掲載	3
	④	位置図：矢印が転換して見にくい。文字情報も多すぎ	位置図を修正（資料4-1-④）	同左、公園HPへ掲載	3
	⑤	位置図：インフラの配置場所の地図は、項目毎に別図で示す方がわかりやすい	インフラの配置場所を示す地図を作成（資料4-1-④）	同左、公園HPへ掲載	3
	⑥	ルール：利用申請を電子で行えるようできないか	・メール等で申請可能 ・現時点では完全電子化は難しいが、指定管理者で完全電子化を目指す	同左	2
広報の強化発信	①	公園管理者の中で公園の魅力を伝える人が必要	・人員に限られているため、魅力を伝える人を配置することは難しい	同左	3
	②	情報発信をエゴサーチして、公園のアカウントで写真などのリツイートやリブライを投げかける	・発行者全員にリツイート等を実施するのは困難であり、一部の人がリツイートがあるようなことはできないため、実施しない ・イベント実施者等に限定したリツイートを実施していく	同左	3
	③	SNSにあげたら乗り物券配布ではなく、ハッシュタグで「赤穂海浜公園」とつけたことを確認できれば、乗り物無料にしてはどうか	・利用数が想定できないので難しい ・人数限定での実施について検討する	・わくわくフェスタやロハスイベント等の際に、観覧車割引等のチケットを配布	2

第1回から第4回協議会での意見と回答（対応可能なものとして第4回協議会で説明し、現在実施中・検討中のもの）

項目	番号	意見等の内容	第3回協議会での回答	現時点での対応方針等	第〇回 意見
広報 の 強 化 情 報 発 信	①	閑散期に乗り物を3日間無料とし、必ずインスタにあげてもらおうなどすべき	・利用数が想定できないので難しい ・人数限定での実施について検討する	—	2
	②	告知に費用をかけられるのであれば、YouTubeに広告費を払って広報するのは有効的（期間1ヶ月で数百万円）	現状では広告費に多額の予算を出すことはできないため、将来的な課題とする	—	1
	③	期間限定で公園の場所を貸切った場合に発生する占有料を無料にするキャンペーンを実施する際にはきちんとプレスリリースをきちんとした方がいい	・無料キャンペーン実施を含め今後検討していく	・無料キャンペーンについては、条例に基づく条件整理が必要のため、継続して実施を検討する ・実施の際は、積極的な広報に努める	2
塩の 活 性 化 の	①	塩の国で大人向け体験プログラムを作れないか	・市で入浜式塩田のひき浜体験プログラムを検討中 ・プログラムは無料にする予定	・引き続き、市でプログラムを検討 ※ひき浜体験は校外学習専用プログラムとした	1
	②	プログラムを有料化してはどうか	・有料化は、市で必要に応じて検討する	—	1
活 性 化 の 公 園	①	季節毎にどの動植物が観ることができかなどが記載された自然体験カレンダーみたいなものを作っていければいい	—	・生息している花の種類が多くないため、インスタ等で情報を発信する	3
	②	花マップなど作っていたのであれば、更新するのではなく蓄積していくべき	—	※同上	3

第2回協議会で提案した「一体的な広報」と「情報発信の強化」の実施状況

＜実施中・検討中の項目＞

項目	方策（◎：実施する ○：今後実施にむけて調整 △：検討する）	実施状況 （◎：実施済 ○：実施に向け準備中 ●：実施保留 △：検討中 ×未実施・未調整）
ア 一体的な広報		
3つの施設が 一体となる 広報	② ○それぞれで告知しているイベントをまとめたイベントカレンダーを作成し、 海浜公園HPに掲載	○埋込カレンダーの掲載を検討中 ◎カレンダー掲載までの間、引き続き、トップページの新着情報に情報を掲示
	③ ○海浜公園・海洋科学館・オートキャンプ場が一体となったポスターを作成し、 現在掲示している場所に加え、周辺の協力的な施設にも掲示	△市に令和4年度の予算確保を依頼（500部/10～20万円を想定） （令和3年度予算は既に確定しているため）
イ 情報発信の強化		
(ア) 公園の魅力ごとの広報	■施設の魅力	
	⑧ ○初めての来園者向け、園内を効率的に回れるモデルコースを策定 ○環境学習利用者向け、塩湿地を活用した学習プランを策定 ○団体利用者向け、公園を含めた赤穂市内周辺観光地を散策するモデルコースを策定 ○モデルコースをHP等で紹介（広報）	× 今後、モデルコース等を検討する
	■環境面での魅力	
	⑩ ○環境学習の場として、周辺の教育委員会等に情報提供 自然が多く、多様な動植物がいることを活かしてもらうための広報）	×塩湿地を利用した学習プランの策定と関連させ、積極的な広報に務める。 （公園管理事務所自主事業（塩湿地群落保全プロジェクト）としても取組中。）
	㉓ ○広場の管理水準を一時的に落とすことで、バッターランド等を作り出せる。	○意図せず近い環境になっている場所があることから、適地を検討して実施
(イ) 公園イベントの広報	⑫ ◎イベント実施後の報告（写真を付ける）を公園のSNSにあげていく	◎ロハスイベント（2回）、カヤック教室、海洋科学館キッズサンデー、昆虫大捜査線等のイベント実施状況をInstagramで掲載。引き続き掲載に努める。 ※効果的なハッシュタグ（#）について
(ウ) イベント募集 の広報	■広く一般に向けた周知	
	⑭ ◎実施したイベントの写真をHPやSNSにあげる	○「イベント募集」でイベントができれば実施する
	⑳ ○ポータルサイト等ネットへの掲載	×具体的なポータルサイト等が分かれば、依頼する
	■実施見込みのある団体等への訪問	
	㉒ ◎個別訪問やチラシ送付等の営業活動	×対応できていないため、今後努力する（資料5-1）

<前回から実施済みの項目等>

項目	方策 (◎:実施する ○:今後実施にむけて調整 △:検討する)	実施状況 (◎:実施済 ○:実施に向け準備中 ●:実施保留 △:検討中 ×未実施・未調整)
ア 一体的な広報		
(ア) 3つの施設と一体となった広報	① ◎海洋科学館入館時に海洋科学館と海浜公園のパンフレットをセットで配布	◎海洋科学館入口に3施設のパンフレットを配置
	④ ◎各施設のHPのトップページに他の2施設のHPのリンクを掲載	◎赤穂海浜公園HPと海洋科学館HPのトップページに、リンクボタンを設置
(イ) 市・観光協会と一体となった広報	⑤ ◎赤穂市などに地域一体となった情報発信を依頼 (他の観光施設にパンフレットの配置やポスターを掲示するなど)	◎民俗資料館、歴史博物館、美術・工芸館、文化会館、御崎レストハウスにパンフレットを配置(2月下旬から配置)
イ 情報発信の強化		
(ア) 公園の魅力ごとの広報	■その他の魅力	
	⑪ ◎子育てアンバサダー等に周辺の子育て中の方に向け、平日利用を促進するような情報の発信を依頼 (平日の利用者が少ないことを活かしてもらうための広報)	◎Instagramで、未就学園児の遊び場、複合遊具設置、平日駐車場無料等の情報を発信。引き続き、公園施設等に関連する情報を提供し、発信等を依頼していく。
(イ) 公園イベントの広報	⑬ ○大規模イベントの場合には駅や公共施設などにチラシを送付し、設置してもらう	◎こどもわくわくフェスタ等のイベントチラシを、近隣宿泊施設や市関係施設へ設置。今後も大規模イベント(約3,000人以上)の際は、チラシ等の配布に務める。
	⑭ ○イベント主催者または参加者に実施後のイベントの情報をSNSにあげてもら	◎3/20・21と、10/2・3のロハスイベントで主催者に依頼。主催者及び参加者のインスタ掲載有り。引き続き、他イベントでも依頼に努める。
(ウ) イベント募集の広報	⑯ ◎HPでの広告(トップページからイベント募集ページへの誘導)	◎HPに掲載中(10月1日から掲載)
	⑰ ◎公園内にチラシを設置	◎管理事務所玄関等に配置(3月上旬から配置)
	⑱ ◎営業先や公共施設などにチラシを置いてもらうよう依頼	◎赤穂観光協会、民俗資料館、歴史博物館、美術・工芸館、文化会館、御崎レストハウスに配置(2月下旬から配置)

<当面は保留の項目等> (関連機関調整、予算確保等が困難なもの)

項目	方策 (◎:実施する ○:今後実施にむけて調整 △:検討する)	実施状況 (◎:実施済 ○:実施に向け準備中 ●:実施保留 △:検討中 ×未実施・未調整)
ア 一体的な広報		
(イ) 市・観光協会と一体となった広報	⑥ ○観光協会が発行するクーポンチラシにわくわくランドの乗り物割引券の掲載を依頼	●乗り物割引券は、乗り物割引額に相当する予算補助が必要なため、当面保留 ※わくわくフェスタ、ロハス等、イベント時に限定し参加者へ割引券配布を実施している
	⑦ △周辺の飲食店と連携し、イベント実施者・参加者には周辺飲食店の割引券等を配布 ⇨提携先の飲食店は会計時、お客さんにわくわくランドの割引等を配布	●乗り物割引券は、乗り物割引額に相当する予算補助が必要なため、当面保留 ※わくわくフェスタ、ロハス等、イベント時に限定し参加者へ割引券配布を実施している ※回数券(11回:+100円、24回:+400円)は、銀波荘等でも販売中 ※赤穂市関連施設との調整を予定 ※◎・○の方策の実施を優先している
イ 情報発信の強化		
(ア) 公園の魅力ごとの広報	■施設の魅力	
	⑨ ○他府県のテニスクラブに広報(16面ものテニスコートをもっと活用してもらうための広報)	●他府県のテニスクラブであれば土日の利用が想定されるため、利用が重複する可能性が高い。別途、平日利用を促進する方策を検討する
(イ) 公園イベントの広報	⑮ △イベント実施後、SNSに情報掲載した方にわくわくランドの乗り物1回無料券を配布	●乗り物割引券は、乗り物割引額に相当する予算補助が必要なため、当面保留 ※わくわくフェスタ、ロハス等、イベント時に限定し参加者へ割引券配布を実施している
(ウ) イベント募集の広報	■広く一般に向けた周知	
	⑳ △集客イベント実施者にわくわくランドの乗り物券を配布	●乗り物割引券は、乗り物割引額に相当する予算補助が必要なため、当面保留 ※わくわくフェスタ、ロハス等、イベント時に限定し参加者へ割引券配布を実施している

イベント実績について(一覽)

実施済6件、中止5件、問合せのみ2件

イベント	現時点の方針	問い合わせ日	開催予定日	イベントの種類	予定参加人数	備考
①バイクの展示会	問い合わせのみ	10月中旬	-	集客イベント	-	※近くにコンビニが無いので申請せず
②地域振興イベント	実施予定(未実施)	11月下旬	3月中旬	集客イベント	5,000人	
③かきまつり	中止	12月上旬	2月下旬	集客イベント	4,000人	例年の「かきまつり」中止の代替イベント
④音楽活動	中止	2月下旬	5月上旬	自主イベント	誰でも	
⑤観光PRイベント	8/6日～8/8実施	6月下旬	-	自主イベント	100人	※チラシ配布人数
⑥コスプレイベント	11/21中止	6月中旬	-	自主イベント	30人 事前申込制	コロナウィルスの影響のため中止
⑦子育て世代向け赤穂のYouTube・SNS向け動画撮影	8/20、8/24撮影 12/21公開	7月上旬	-	自主イベント	-	Kitokkei!(きとっけー実行委員会 代表 岩崎由美子) ※赤穂観光アクション補助事業
⑧子育て世代向け親子イベント (よみかかせや季節の工作、トランプ、英語等を使った子育て世代を対象としたイベント実施)	8/27、9/28、10/25、 11/12、12/17実施済	7月上旬	-	集客イベント	10組20名 事前予約制	赤穂海浜公園魅力アップ作戦～子育て支援事業の開催と情報誌発行(赤穂市地域活動連絡協議会代表 岩崎由美子)
⑨映画撮影	中止	8月中旬	-	集客イベント	-	新型コロナウイルスの影響による撮影スケジュール短縮のため、中止
⑩自動車愛好者オフ会	未実施	8月上旬	11月下旬	自主イベント	30台 事前受付制	8月上旬以降の連絡無し
⑪日本画の展示 (管理事務所休憩ホール)	9/28日～10/4実施	8月上旬	9/28～10/4	自主イベント	-	趣味で日本画を描かれている方の作品の展示
⑫ふれあいウォークラリーIn 海浜公園	12/4実施	11月上旬	12/4	自主イベント	40名	関西福祉大学の大学生が公園内で親子を対象としたウォークラリーを実施
⑬凧づくり教室	1/8日実施	11月下旬	1/4	集客イベント	20名	赤穂大空会による凧づくり教室

記者発表（資料配布）			
月 日	担当課 班 名	電 話	発表者名 (担当班長名)
6/24 (金) 10:00	公園緑地課 特定プロジェクト班	078-362-9309 (内線 4969)	課長 北村 智顕 (特定プロジェクト班長 大喜多 弘昌)

県立都市公園のあり方検討会の開催について

県立都市公園の自然環境保全や活性化のあり方について、地元住民や自治体、有識者など幅広い関係者の意見を踏まえて検討を行うため、県立都市公園のあり方検討会を設置し、下記のとおり第1回全体会を開催します。

記

1 第1回全体会の開催概要

日 時 令和4年6月30日(木) 13:00~15:00

場 所 兵庫県庁 3号館6階 第1委員会室

議 題 自然環境保全のあり方

①自然環境の保全と公園利用者の安全とのバランスの考え方

②樹木管理に関する合意形成の進め方

③公園管理に関する情報発信のあり方 等

※「活性化のあり方」は第2回目以降に検討予定

2 「県立都市公園のあり方検討会」の検討内容と検討体制

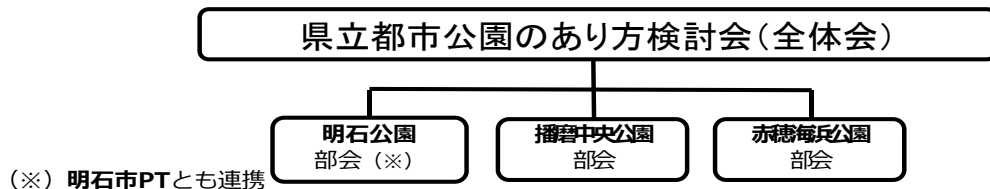
検討内容 「自然環境保全」及び「活性化のあり方」

検討体制 【全体会】①部会で検討すべき論点を整理

②部会意見を調整し、全県的な視点から検討を行い基本的な方針を提言

【部 会】①利用者からの意見聴取

②公園ごとの特性を踏まえた整備・管理運営のルールを検討



3 スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
県				中間報告	パブコメ				最終報告	パブコメ
全体会	第1回	第2回			第3回					第4回
部会		明石公園 自然環境保全のあり方等 第1回 第2回 第3回 第4回 ヒアリング					播磨中央公園 活性化のあり方等 第1回 第2回 第3回 ヒアリング			
					赤穂海浜公園 第1回		第2回 ヒアリング	第3回 ヒアリング	第3回	

4 全体会委員

分野	氏名	所属等
有識者	赤澤 宏樹	兵庫県立大学 教授、赤穂海浜公園管理運営協議会会長
	岩浅 有記	大正大学 准教授
	小南 浩一	元 兵庫教育大学大学院 教授、播磨中央公園管理運営協議会会長
	高田 知紀	兵庫県立大学 准教授
	田中 裕子	兵庫県経営者協会 副会長
	田中 まこ	ジャパン・フィルムコミッション 顧問
利用者	杉本 恵子	(公財)兵庫県スポーツ協会理事、県障害スポーツ協会理事
	高田 佳代子	ひょうご子育てコミュニティ 代表幹事

分野別50音順・敬称略、以上8名

5 第1回全体会の傍聴

- (1) 傍聴席は10席設けています。
- (2) 傍聴希望者は、開会予定時刻の1時間前から15分前までの間に、受付に申し出の上、傍聴申出書に必要事項を記載してください。傍聴希望者が定員を超えた場合は、委員会開催前に希望者立ち会いのもとで抽選を行い、傍聴者を決定します。なお、抽選時に不在の者は傍聴できません。
- (3) 会議開会後の入場は認められません。
- (4) 傍聴にあたっては、会長及び事務局職員の指示に従ってください。

記者発表（資料配布）			
月 日	担当課 班 名	電 話	発表者名 (担当班長名)
7/8 (金) 10:00	公園緑地課 特定プロジェクト外班	078-362-9309 (内線 4969)	課長 北村 智顕 (特定プロジェクト外班長 大喜多 弘昌)

県立都市公園のあり方検討会第1回明石公園部会の開催について

県立都市公園の自然環境保全や活性化のあり方について検討を行う「県立都市公園のあり方検討会」に明石公園部会を設置することとし、下記のとおり第1回明石公園部会を開催します。

記

1 第1回明石公園部会の開催概要

日 時 令和4年7月15日(金) 14:30～16:30

場 所 明石市立勤労福祉会館 2階多目的ホール(明石市相生町2丁目7-12)

内 容 明石公園におけるこれまでの取組み状況について

※初回であり以下について、これまでの取組み状況等について説明し、委員の情報共有を図る。

①樹木伐採や活性化に向けた県の取組み状況

②陸上競技場(きしろスタジアム)や第一野球場(明石トーカロ球場)等の課題

2 明石公園部会委員

分野	氏名	所属等
有識者	上町 あずさ	武庫川女子大学 教授
	高田 知紀	兵庫県立大学 准教授
	嶽山 洋志	兵庫県立大学大学院 准教授
	村上 裕道	京都橘大学 教授
利用者	岡田 十一	ホーイスカウト明石第2団 代表
	笠間 龍夫	(一財)兵庫県高等学校野球連盟 事務局長
	樫原 一法	(一社)明石観光協会 専務理事兼事務局長
	兼光 たか子	明石公園の自然に親しむ会 代表
	小林 禧樹	明石公園の自然を次世代につなぐ会 代表
行政	泉 房穂	明石市長
	中務 裕文	加古川市建設部長

分野別50音順・敬称略、以上11名

3 第1回明石公園部会の傍聴

(1)傍聴席は40席設けています。

(2)傍聴希望者は、開会予定時刻の1時間前から30分前までの間に、受付に申し出の上、傍聴申出書に必要事項を記載してください。傍聴希望者が定員を超えた場合は、会議開催前に希望者立ち会いのもとで抽選を行い、傍聴者を決定します。なお、抽選時に不在の者は傍聴できません。

(3)会議開会後の入場は認められません。

(4)傍聴にあたっては、議長及び事務局職員の指示に従ってください。

【ご参考】

1 「県立都市公園のあり方検討会」の検討内容と検討体制

検討内容 「自然環境保全」及び「活性化のあり方」

検討体制 【全体会】①部会で検討すべき論点を整理

②部会意見を調整し、全県的な視点から検討を行い基本的な方針を提言

【部会】①利用者からの意見聴取

②公園ごとの特性を踏まえた整備・管理運営のルールを検討



(※) 明石市PTとも連携

2 スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
県				中間報告	↑	ハブコメ			最終報告	↑	ハブコメ
全体会	第1回 6/30	第2回			第3回					第4回	
部会		↓ 中間報告 ↑ 明石公園 第1回 7/15 第2回 第3回 第4回 ヒアリング 自然環境保全のあり方等					↓ 最終報告 ↑ 活性化のあり方等 第5回 第6回 第7回 ヒアリング				
					播磨中央公園 第1回		第2回 ヒアリング	第3回			
						赤穂海浜公園 第1回	第2回 ヒアリング	第3回			

施設整備状況

凡例

■	R 1 整備済
■	R 2 整備済
■	R 3 整備済
■	R 4 整備予定

赤穂海浜公園に相応しい大型遊具
(配置検討・概略設計)

